releases / rust / editors / publishing

Guidedog 1.0.0-beta.11

Guidedog contributors

2026-11-03

Abstract

Editable source maps, previews that point back to the source, dependency manifests and capability reports for editors.

□ディターは Guidedog プロジェクトを、ソースの隣で視覚的に編集できるようになりました。新しいクレート `guidedoc-edit` は、reStructuredText または Markdown の文書を Guidedog 自身のリーダーで読み、マークアップの範囲と編集可能なテキストを持つブロックに対応付けます。

その操作では、ブロックのテキストの置き換え、ブロックの挿入・削除・移動、ディレクティブのオプションの設定と削除、リスト項目の追加ができます。どの操作も必要なバイトだけを変更し、結果を読み直し、コードブロックを早く閉じてしまうテキストのように意図どおりに読み戻せない編集は拒否します。

プレビュービルドはソースを指し示すようになりました。各 HTML ブロックは読み込んだファイル内のバイト範囲を持ち、各 PDF には各ブロックがどのページにあるかを示すページマップが付きます□らにどのビルドも `gd-dependencies.json` を書き出し□ページと各ブックがどのファイルから作られたかを記録するので、□ディターは変更の影響を受ける出力だけを再ビルドできます。`guidedog capabilities --json` は、実行ファイルの形式、ビルダー、ディレクティブ、ロール、拡張機能、プラグインを、表からではなくリンクしているコードから報告します。

このリリースでは、取り込むファイルが後から作られた文書が読み直されるようになり、Graphviz 2.42 で描いた図が前の図のテキストを次の図に持ち越さなくなりました。設計は GDS 0017 に記録しています。